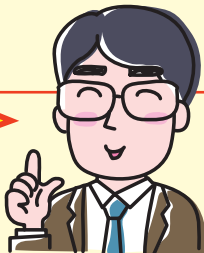


家庭でできる学力アッププロジェクト

～とちぎっ子学習状況調査 3年間の調査結果から～

本県では、平成26年度から「とちぎっ子学習状況調査」を実施しています。これまでの調査結果から、平均正答率と家庭での過ごし方には、深い関係があることがわかってきました。家庭での学習や過ごし方について、お子様と話をする際の参考にしてください。

チェックして
みましょう!



学力を伸ばす 7つの習慣

✓ 家庭での学習

- 学校の宿題をしている
- 授業の復習をしている
- テストでまちがえた問題を勉強している
- 自分で計画を立てて勉強している

✓ 家庭での過ごし方

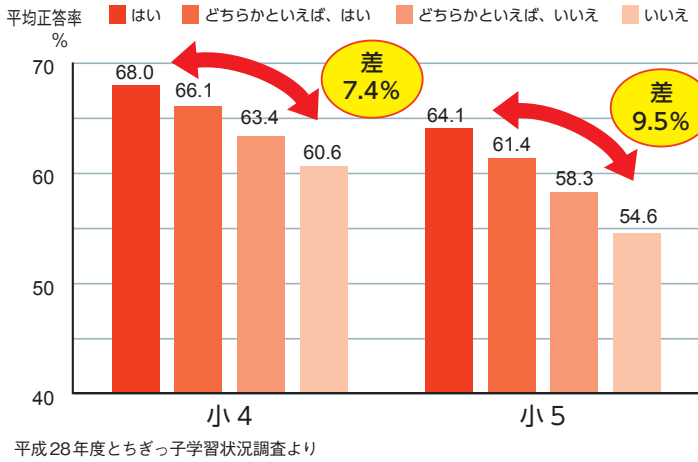
- 時間を上手に使うことを心がけている
- メールやインターネット、ゲームをする時間が少ない
- 家の人と学校での出来事を話している



家での復習や生活のリズムを整えることが大切です！

グラフは、国語・算数・理科の3教科をまとめた平均正答率と質問紙調査の回答結果の関係を示しています。

学校の授業の復習をしている



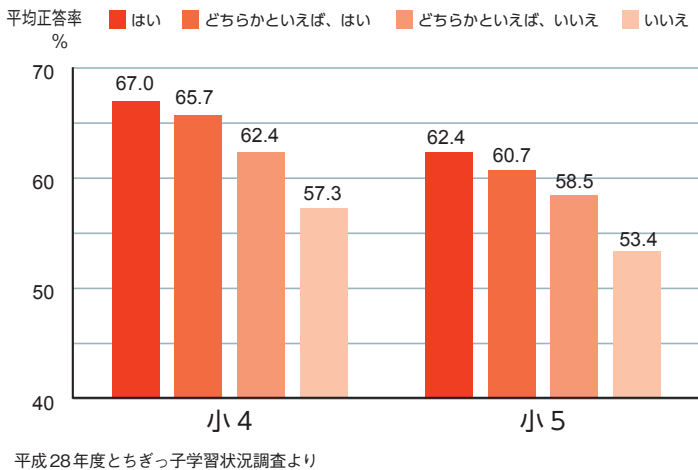
学年が上がるにつれて、平均正答率の差が広がっています。



その日学習した内容について、教科書を読み直したり、問題をもう一度解いたりしてみましょう。

小学生のうちに復習する習慣を付けましょう。

時間を上手に使うことを、心がけている

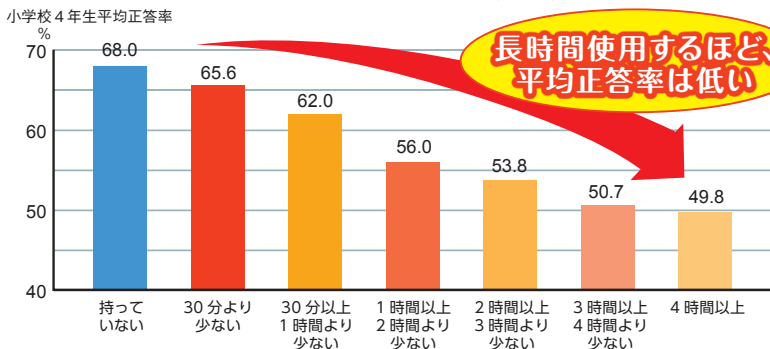


「はい」と答えた児童は、平均正答率が高い傾向が見られます。



毎日同じくらいの時刻に勉強を始めたり寝たりするなど、生活のリズムを整えましょう。

平日の1日当たりどれくらい携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか？



長時間使用するほど、平均正答率は低い

携帯電話・スマートフォンの使用は、家庭でのルールが大切！

携帯電話・スマートフォンを持っていない本県の児童の割合は、小学校4年生で57.1%、5年生で55.5%です。

長時間の使用は家庭学習の妨げになります。生活のリズムを整えるためにも、家庭でのルールを徹底しましょう。